“子供たちに夢を”全国少年柔道協議会、設立*！*

＊少柔協では、「子供たちの笑顔が見える」柔道環境を整えることで、たくさんの笑顔と感動をもらえることを願って活動していきます。

1. 全柔連の登録人口は、2006年度（平成18）に20万人でしたが、

2014年度（平成26）は164,000人余りの右肩下がり一途です。

　　これは、全国どこの県・地域でも見られる、残念な現象です。

1. 一方、「“甲子園”をめざす、高校部活の野球、登録者17万人」（朝日新聞７月１日、水曜・朝刊）という事実もあります。
2. 「柔道人口、減少」のうち、危機感をもたなければならないのは、“少子化”以上の減少を見せているのが、子供たち、柔道少年の減少です。今こそ、“裾野”（基盤）である、少年たちの減少を目の前にして、手をこまねいているわけにはいきません。
3. 奈良県の野村基次会長の危機感をもったご提言もきっかけに、本日の「全国少年柔道協議会」の設立と、「全国少年柔道振興対策会議」の開催が実現したのです。
4. 全国の少年柔道をご担当する皆様方のお力を結集して、全柔連の新しい緊急の事業、“選手強化”ではなく、“普及”に重きをおいた全国少年柔道協議会の事業展開をぜひとも進めていきましょう。

全国の道場、どこでも、いつでも「子供たちの笑顔が見える」柔道環境に整えることで、指導者や保護者は、これからも子供たちから多くの笑顔と感動をもらいたいものです。